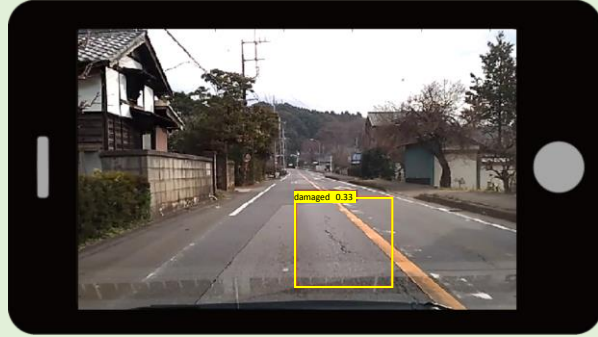


# 「IoT・機械学習を用いた 道路舗装損傷の自動抽出」概念図

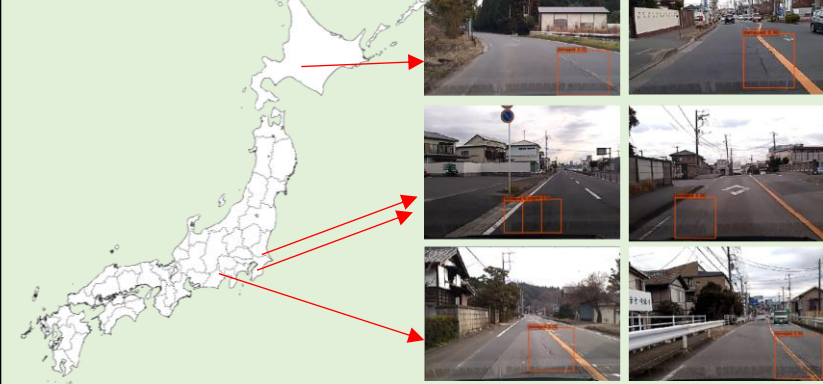
## スマホアプリ



- ・スマートフォンカメラで道路路面を撮影。
- ・深層学習モデルを用いて損傷候補フレームの範囲と程度を判定し、サーバーに自動送信。

損傷を含む画像のみを送信

## データ共有サーバー

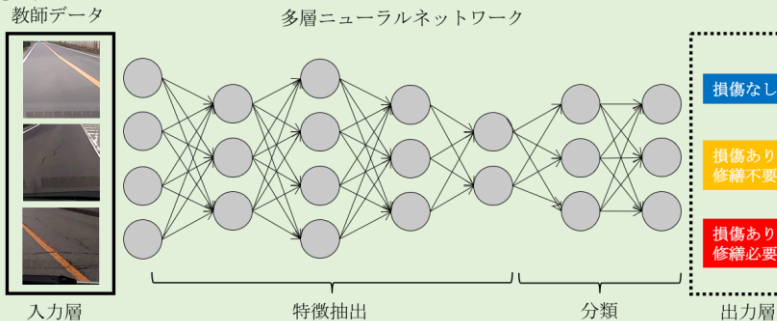


- ・各参加自治体の取得画像を共有。
- ・取得画像の位置情報を元に道路統計情報を抽出。

道路管理者によるスマホアプリの判定の確認

最新の学習モデルをスマホに送信

## 学習用サーバー



教師データを日々蓄積

- ・日々蓄積される教師データで、モデルを学習させ、さらなる精度向上を目指す。
- ・自治体ごとの管理水準から道路舗装損傷を自動抽出する

## Webツール



- ・道路管理者がWebで損傷を含む範囲と対応レベルを確認・修正し、教師データとしてラベルを付与。